

# 令和5年度 第1回 在宅医療×介護連携@つちう Labo 参加者アンケート

- 日 時：令和5年6月15日（木）18時30分～20時30分
- 場 所：土浦市役所2階 男女共同参画センター研修室1・2
- テーマ：高次脳機能障害のケアのポイント
- 出席者：49名（アンケート回答率：100%）

## 1. あなたの年齢、職種を教えてください。

【年 齢】

	人数	割合
20代	3	6.1
30代	12	24.5
40代	9	18.4
50代	11	22.4
60代	12	24.5
70代以上	1	2.0
無回答	1	2.0
合計	49	100.0

【職 種】

	人数	割合
介護支援専門員	19	38.8
薬剤師	11	22.4
看護師	4	8.2
介護職	3	6.1
生活相談員	2	4.1
理学療法士	2	4.1
作業療法士	2	4.1
医師	1	2.0
歯科医師	1	2.0
保健師	1	2.0
社会福祉士	1	2.0
ソーシャルワーカー	1	2.0
学生	1	2.0
合計	49	100.0

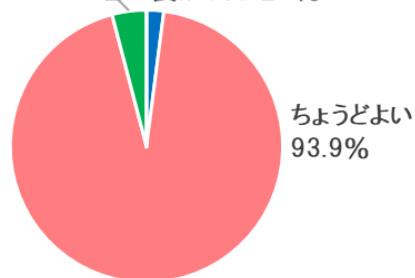
## 2. 本日の研修会について

### (1) 講演についてお伺いいたします

#### ① 講演の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	1	2.0
ちょうどよい	46	93.9
短かった	2	4.1
無回答	0	0.0
合計	49	100.0

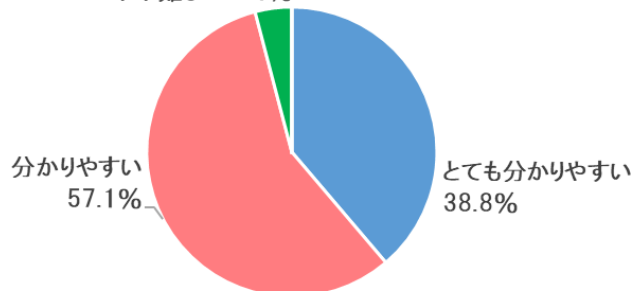
短かった:4.1% 長かった:2.0%



#### ② 講演の内容は、いかがでしたか？

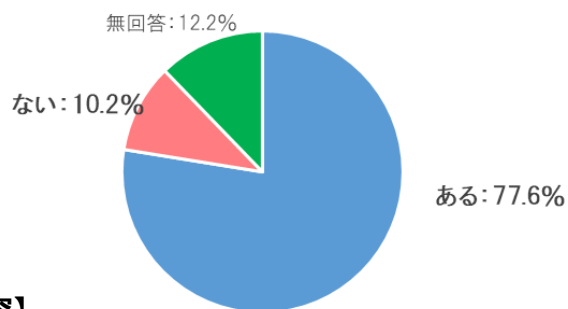
	人数	割合
とてもわかりやすい	19	38.8
わかりやすい	28	57.1
やや難しい	2	4.1
難しい	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	49	100.0

やや難しい:4.1%



### ③本日の講演内容で、今後取り組もうと思った内容がありますか？

	人数	割合
ある	38	77.6
ない	5	10.2
無回答	6	12.2
合計	49	100.0



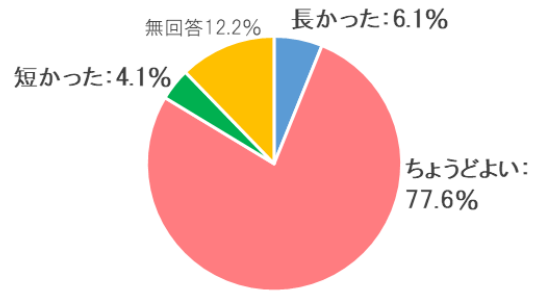
#### 【「ある」と回答した方：具体的な内容】

- ・多職種で目標共有しで取り組んでいきます
- ・プランの目標設定の見直し等々
- ・高次機能についての知識 UP
- ・注意機能を賦活させるトレーニングを試す。前頭葉機能が改善するのであれば閉じこもり傾向から変化がみられるかもしれないので。
- ・利用者の日常生活を詳しく見直して、スケジュールが変化したときの対応を心構えとして持っておきたい。
- ・高次脳機能障害の方から医師へつなげられたらと思う
- ・目標設定のすすめなど行動できること
- ・小さな目標から大きな目標へ。高次脳機能障害でも、できることを伸ばして行くことを大切にしたいと思った。
- ・ケアプランを作成する際、短期目標は小さく一つ一つ成功体験をつめるようなものを立て、長期はやる気の出るようなものを立てるように配慮する。
- ・OT の方の評価を積極的の取り入れたい
- ・評価については身近に取り組みやすいので取り入れたい
- ・障害を意識した服薬管理や施設様との連携
- ・長期的目標と短期的目標の設定
- ・軽度高次脳機能低下の方に対する OT 評価
- ・展望記憶への働きかけ
- ・紹介してくださったスケール、検査法等をおこなってみたいと思います。
- ・高次脳機能障害に関し、在宅の患者さんの整理整頓、どのような生活がしたいかの目標などにも目を向けて見ていきたい
- ・目標設定の重要性。どのように生活したいか共有し支援していく。手帳の活用。
- ・目標設定をはっきりさせる
- ・前頭葉機能、注意機能の評価の項目を参考にして対象者の状況を把握する
- ・目標設定を考える。閉じこもりの定義を考える。
- ・ケアマネとしては、長期目標・短期目標をしっかりと考えて設定していくという事。展望記憶という言葉の持つ意味を大切にしたい。
- ・展望記憶の概念を取り入れて利用者の要望を拾い上げていきたい。
- ・目標設定をしっかり決め、多職種でかかわっていく
- ・高次脳機能障害への支援
- ・認知症から精神病につながることもあり、専門病院や連携施設などの利用も必要と思えた。高次脳機能障害のどんな人でも目標設定をもって生活できるように関わりたいと思う。
- ・高次脳機能障害についてもう少し知識を深めたい
- ・目標を明確に決めることが大切で、それに向けて行動する。
- ・認知機能（高次脳機能障害）と閉じこもりの関係をわかりやすく伝えていただいたため、今後、施設でも脳トレ等必要な方に必要なケアができるように評価も行ないつつ、適切な支援を行いたいと思いました。
- ・店舗で高次脳機能障害について共有し理解を深めていきたい

(2) 意見交換会について、お伺いたします。

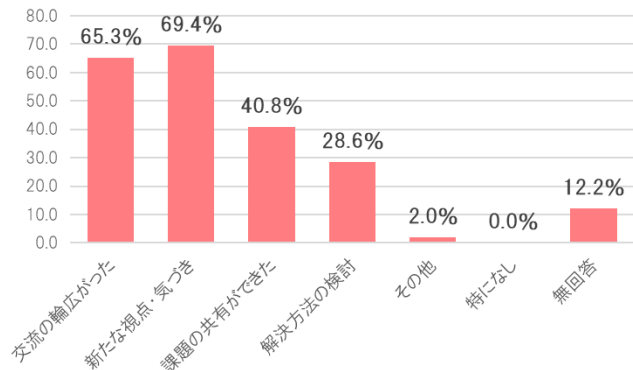
①意見交換会の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	3	6.1
ちょうどよい	38	77.6
短かった	2	4.1
無回答	6	12.2
合計	49	100.0



②本日の意見交換会では、どのような成果が得られましたか？

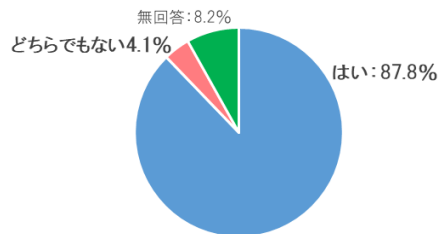
	人数	割合
交流の輪広がった	32	65.3
新たな視点・気づき	34	69.4
課題の共有ができた	20	40.8
解決方法の検討	14	28.6
その他	1	2.0
特になし	0	0.0
無回答	6	12.2



その他：多職種の話、参考になりました。

(3) 今後も、「つちう Labo」に参加したいと思いますか？

	人数	割合
はい	43	87.8
いいえ	0	0.0
どちらでもない	2	4.1
無回答	4	8.2
合計	49	100.0



3 今後、どのようなテーマの研修会や意見交換会を行ってみたいですか？

- ・ターミナルケア
- ・各職業における問題事例
- ・BCP、災害・水害時の対応、ネットワーク
- ・認知症の方の対応について。(症状に対する対応や利用可能なサービスについて)
- ・身近な困難ケースについて
- ・在宅に関して
- ・リハ
- ・ファシリテーション、交流
- ・認知症について・共生社会について・地域包括ケアについて
- ・今回のように症状に特化した講義。医療介護に関連した8050問題について。
- ・看取り
- ・在宅復帰に向けて等の研修

**4 土浦市では、医療・介護の連携ツールとして、「在宅ケア連携手帳（在宅版）」と「くらしをささえるおぼえがき 在宅ケア連携手帳（携帯版）」を作成し、配布しております。ご使用などされる中で、お気づきの点や改善点がありましたら、ご記載ください。**

- ・リビングウィルのページは使いやすいです
- ・実際、在宅・居宅で活用させてもらっています。助かっています。
- ・使ったことがありませんでした。今後利用させていただきます。
- ・大変役に立って使わせていただいています。
- ・特になし
- ・利用させていただく
- ・利用させていただいています。とても良いです。
- ・在宅版と携帯版と分けて使える高齢者は少ない印象なので内容は同じにしてもよいのではないかと思いました。
- ・使用する効果がわからない。持ち運びに大きい。

**5 最後に、お気づきの点や、ご感想などありましたら、自由にご記載ください。**

- ・時計や図を描いて傾向がわかってしまうとは・・・。データーはすごいです。
- ・つちう Labo では、他職種の方と意見交換したり、普段電話でしか話していない方と直接顔を合わせることができて、とても貴重な機会だと思っています。今後も開催をぜひお願いいたします。
- ・認知症状と高次脳機能障害の区別がなかなかつきにくいのですが、早めのアプローチがいいとお話を伺えたのでサービス導入の際に配慮したいと思います。
- ・長年の課題へのアドバイスをいただきました。ありがとうございました。OTの方の話を聞いて良かったです。
- ・学生の立場ではありますが、今回このような機会をくださりありがとうございました。地域の多職種の方々の現場の声を聞くことができ、学校では学べない時間となりました。
- ・介護の現場で利用できる具体的な話がほしい。
- ・準備ありがとうございました
- ・とても貴重な経験でした。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。ありがとうございます。
- ・本日もありがとうございました
- ・「認知症ガイドブック」名称は変更できないか？本人がみることもあるので。
- ・高次脳機能障害は高齢者の問題と思っていたが、児童も同じ問題であることに気が付きました。トレーニングで改善できることも知りました。
- ・高次脳機能障害の事、よくわかりました。ありがとうございました。
- ・いい経験をさせていただきました。たくさんの意見を聞いたので今後のサービス提供に活かしたいと思います。
- ・在宅サービスとして、STの専門職が少ない。失語者へのアプローチ、リハビリができていない。特養入所してしまうとリハビリ継続できていない方が多い。継続できるような対策が必要。
- ・司会、進行が良かった。